

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズルーム ばんびーに 石岡館			公表日	2026年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		仕切り等で別々のスペースを確保したり場面によって対応できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			非常時や急な休みにも対応できる人員の確保が常にできると良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		設備等は段差が無く、入口には滑り止めテープを使用。	今後のために手すり等も準備できれば良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		月に一度ミーティングで行っている。目標や計画に基づき業務を実施している。	各館の共通理解と、情報の共有ができる場を更に多く設けていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		些細な意見等を参考にし改善をしている。	送迎時等の保護者様とのコミュニケーションを大切にしたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		今後検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		ZOOM等を利用した研修会をおこなっている。	利用した研修会を今後も継続したい。研修と同時に勉強会等全館で共有できればと思う、研修報告フィードバックも引き続き行う。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		得意、不得意などを把握して行えている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		ミーティングの際行ったり、その都度職員間で話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		興味、発達の成長に合わせて常に話し合い、新しいものを取り入れたりするよう意識している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		毎日の小ミーティングでは、その日のメンバー等を考慮しながら担当や職員配置など決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		終了後必要な情報の伝達と確認作業を行っている。報告・相談・連絡をし共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		偏りのないように、皆で共有できるように当番を交換しながら記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		行事や下校時間等を知る手段、手紙・連絡帳・FAX、又は下校時の先生との対話で連携が取れている。前日に間違いがない様確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	45%	55%		今後必要に合わせて、話し合いの場を設ける必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	56%	44%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	56%	44%		今後必要に応じて研修会等に積極的に参加したいと思う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	45%	55%	一般の公共施設等に積極的に関わる機会を作っているが、直接的に地域のお子様と一緒に活動する機会は持っていない。	定期的に交流ができるように、地域の支援センター等からも情報を得るようにしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	56%	44%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時には保護者様との会話を心掛け、共通理解を持つようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%		今後ご家族様が参加できる研修の機会をお知らせできるようにしたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			わかりやすく丁寧な説明を心掛けたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	保護者様同士の今後の交流も視野に入れ、今年は親子ビザ作り体験をとり入れた。	今後保護者様同士の交流の場をご提供できるように、保護者様の意見を聞きながら進めていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情があった場合は速やかに対応し、記録し、今後同じことのないように注意している。	今後もその都度、解決に向けての早急な対応を心掛けたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月のお便りとSNS等で写真と合わせて日々の活動を情報発信している。	配信に波があるので改善していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			全職員に障害の種類、基本特性を理解してもらい対応策など話し合いをしたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	45%	55%		今後、夏祭り・クリスマス会・書き初めなど季節に合わせたイベントに招待していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		想定内容を毎月1回変えながら訓練している。	今後も欠かさずに行い、全員が意識を持って備えていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約の際には必ずアレルギー・食物アレルギーの有無を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止研修を全員で参加し、知識を深めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		放課後等デイサービス計画書に、その旨を必ず記載するようにしている。	保護者様と話し合い、理解していただき、職員間の話し合いの中でも皆が認識できているようにする。